

令和7年度第1回 茂原市総合教育会議

1 期 日 令和7年9月24日（水）
開 会 午後1時15分
閉 会 午後2時33分

2 場 所 茂原市役所9階会議室

3 出 席 者

茂原市長	市原 淳
教 育 長	富田 浩明
教育長職務代理者	高仲 輝夫
委 員	安藤 明子
委 員	竹田 幸則
委 員	杉木 範行

4 出席職員

総合企画部長	平井 仁
教育部長	佐久間 尉介
総合企画部次長（総務課長）	飯島 博美
教育部次長（教育総務課長）	新木 和敏
企画政策課長	川崎 弘道
企画政策課主幹	野口 栄孝
企画政策課主幹	風戸 嘉幸
学校教育課長	佐藤 千秋
学校教育課主幹	岡田 弘道
学校教育課主幹	鶴澤 徹
生涯学習課長	岩瀬 敏之
スポーツ振興課長	石井 直美
美術館・郷土資料館長	鈴木 美恵子
東部台文化会館長	田中 克人
教育総務課長補佐	江川 卓也
教育総務課総務係長	小川 貴史

5 傍 聴 人 0人

6 議 題

1. 茂原市教育施策の大綱の原案について
 - (1) 市内小中学校の学力向上に向けた取組について
 - (2) 市内小中学校校舎及び幼稚園舎の老朽化について

7 そ の 他

8 会 議 録

教育総務課長 : 定刻となりましたので、ただいまから令和7年度第1回茂原市総合教育会議を開会いたします。

補佐 構成員の皆様には、ご多用の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

今年度1回目の総合教育会議となります。本日の案件は、次第にあるとおり「茂原市教育施策の大綱の原案について」でございます。

重要な議題となりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、市原市長よりご挨拶をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

市長 : (市原市長より挨拶)

教育総務課長 : ありがとうございました。

補佐 それでは、これより本日の議事に入らせていただきます。

本会議の議事の進行につきましては、教育部長をお願いしたいと思います。佐久間教育部長、よろしくお願いいたします。

教育部長 : それでは、よろしくお願いいたします。

早速議題に入りたいと思います。本日の議題は、「茂原市教育施策の大綱の原案について」でございます。

教育施策の大綱について協議の後、「市内小中学校の学力向上に向けた取組について」及び「市内小中学校校舎及び幼稚園舎の老朽化について」の2件をご協議いただきたいと思いますと考えております。

まず、「茂原市教育施策の大綱の原案について」説明をお願いします。

教育部次長 : (1.「茂原市教育施策の大綱の原案について」説明)

(教育総務課長)

教育部長 : ありがとうございました。

ただいま、「茂原市教育施策の大綱の原案について」の説明がございましたが、このことについて、ご質問・ご意見等がありましたらお願いいたします。

委員 : 教育方針1(1)学びの質の向上では、「児童生徒が集団の中で、多様な考え方に触れ」とありますが、少子化の一方で、不登校の子供たちは増えてきており、(5)多様なニーズへの対応という部分では、不登校の子供たちが、いかに、一人一人取り残されないで教育を受けられるかというのは、先生方の力が非常に大きくなってくると思います。

不登校の子供たちも誰一人取り残されず、児童生徒が集団の中で、多様な考え方に触れ、切磋琢磨していくことができるような環境を作っていただきたいと思います。

学校教育課長 : 学校教育課といたしましては、不登校の児童生徒や保護者に寄り添い、学校への復帰だけではなく、外部機関等を利活用しながら、よりよい方向を一緒に考えていくことを学校現場に求めていきたいと考えております。

教育部長 : ありがとうございました。

他にありますか。

委員 : 教育方針3(3)コミュニティ・スクールの具体的な取組について教えてください。

生涯学習課長 : 複雑多岐にわたる、学校、生徒の抱えている問題等を地域と力を合わせて解決する取組がコミュニティ・スクールであり、茂原市では、来年4月1日より運用予定でございます。

委員 : メンバーの選出は、どのように行われるのですか。

生涯学習課長 : 学校と協議し、学識経験者や地域の方、保護者等からの選出を考えております。

教育部長 : ありがとうございました。

他にありますか。

委員 : 県の教育振興基本計画にも沿っており、巻末に用語解説もつけていただいて、わかりやすくなっているのが良いと思います。

教育部長 : ありがとうございました。

他にありますか。

委員 : 表紙の「ふるさと茂原を愛し、豊かな心と高い志を持って未来を主体的に生きる人づくり」という言葉にあるように、世界を意識し、高い志を持った子供たちを育てていきたいと思いました。

教育部長 : ありがとうございました。
それでは教育長、お願いいたします。

教育長 : 大綱については、表紙の「ふるさと茂原を愛し、豊かな心と高い志を持って未来を主体的に生きる人づくり」という言葉にあるように、情報氾濫社会の中で、子供たちが豊かな心と目標を持って学んでいくためには、自ら考えて行動していくことが必要であり、その上で、茂原を愛する心を持った子供たちを育てていかなければいけないと感じています。
また、不登校に関しては、学校への復帰だけでなく、将来にわたり、どんな生き方をしていかなければいけないのかということを寄り添って考えてあげることが必要であると考えています。
そのために、先生方の資質向上を図ることが教育委員会としての第一の使命であると感じています。

教育部長 : ありがとうございました。
それでは市長、お願いします。

市長 : 大綱につきましては、前向きなご意見をいただきましたので、このとおりに進めていければと考えています。
今、いろいろな問題を抱えている子供たちが多く、就学前に対策をとることが重要だと思いますので、市の他の施策と連動させていければと考えています。
また、ICTやデジタル化、インバウンド等により、より世界を視野に入れた教育が必須になってくると思いますし、それに向かって茂原の教育が進んでいると思います。
一方で、情報氾濫社会の中で、ネットリテラシーを身に付けることは、非常に難しい時代だと思いますが、併せ持っていければと考えています。
コミュニティ・スクールにつきましては、学校だけではなく、地域で子供たちを見守り、ともに育てていくといった新しい試みが来年度から始まるということです。非常に期待しております。
また、心豊かにという部分では、芸術文化につきましても力を入れていきたいと思っています。

教育部長 : ありがとうございました。
それでは、次に(1)市内小中学校の学力向上に向けた取組について説明をお願いいたします。

学校教育課長 : ((1)「市内小中学校の学力向上に向けた取組について」説明)

教育部長 : ありがとうございました。
ただいま、「市内小中学校の学力向上に向けた取組について」の説明がございましたが、このことについて、ご質問・ご意見等がありましたらお願いいたします。

委員 : 最近の小中学生は、勉強しなくなったのでしょうか。

学校教育課長 : 全国学力・学習状況調査の中で、児童生徒の生活状況等に関する質問調査が行われております。
調査結果によりますと、長時間勉強している児童生徒は若干減少傾向にある一方、タブレット等のスクリーンを見る時間が少し長くなっている傾向にあるようです。

委員 : 千葉県教育委員会によりますと、全国学力・学習状況調査では、約86%の児童生徒が学校は楽しいと感じているそうなので、楽しいと感じていることを生かしながら、学力をつける方法を模索していければと思います。
また、英語検定の公費負担を始めましたが、これをきっかけに英語や勉強

- に興味を持ってもらえたら良いと思います。
- 教育部長 : ありがとうございました。
 他にありますか。
- 委員 : タブレット授業が始まり、効果については、今後明らかになってくると思います。タブレットは、調べ学習には便利ですが、書く機会の減少等のデメリットもありますので、やはり、基本的な読み書き計算の能力が大事だと思います。
- 教育部長 : ありがとうございました。
 他にありますか。
- 委員 : 資料に（３）英語検定の公費負担とありますが、英語検定だけではなく、漢字検定や数学検定等、他の検定についても、公費負担でやっていただけると、学力向上の一端になっていくのではないかと思います。
 また、調べ学習につきましては、インターネットを使うとすぐに答えが出てきますが、答えに行きつくまでの過程も大事だと思いますので、辞書で調べることも非常に重要であると思います。
- 学校教育課長 : 各中学校において、漢字検定や数学検定等の各検定にも取り組んでおりますので、各学校の様子を確認しながら、検討してまいります。
- 教育部長 : ありがとうございました。
 他にありますか。
- 委員 : 調べ学習につきましては、ICTの活用により、1人1台端末が当たり前になっていますが、国によっては、タブレットから紙に戻した国もあるので、やはり、辞書等を使って自分で調べることは非常に大事だと思います。
 また、今回、英語検定の公費負担により、中学3年生654名のうち、92.5%の生徒が英語検定を受けたということで、非常に良いことだと思いますが、この中に、不登校の子供たちは含まれているのでしょうか。
 せっかく受けるのであれば、ぜひ、子供たちになぜ受けるのかということを理解させていただき、子供たちが英語を好きになれば、世界に視野を広げることができると思いますので、ご尽力をお願いします。
- 学校教育課長 : 不登校の中学3年生が受けたかどうかにつきましては、現段階では把握しておりませんので、今後、確認してまいります。
- 教育部長 : ありがとうございました。
 それでは教育長、お願いいたします。
- 教育長 : 学力向上についてということでテーマを出してもらいましたが、部活動の地域展開を考えてみると、部活の時間がなくなってくると、教職員に求められる教育力は、学習指導になりますので、学力向上への取組については、考え方自体を変えてもらわなければいけないと考えています。
 また、コミュニティ・スクールには、地域の教育力を生かすという発想もあると思いますので、地域で指導者として携わることを希望している方に、ボランティアで協力してもらうことも可能になるのが、コミュニティ・スクールの1つの使い方かもしれないと思います。
 学力向上への取組については、教員の資質向上や考え方を考えていかなければいけないという使命があると思います。
 学力向上は永遠のテーマではありますが、転換期になりつつあるのかもしれないので、茂原市が率先して行っていければ良いと思います。
- 教育部長 : ありがとうございました。
 それでは市長、お願いします。
- 市長 : 英語検定の公費負担については、良い結果が出ていることは、大変喜ばしく、目標を持つことは、学力向上にとっても寄与することだと思いますので、漢字検定や数学検定へ枠組みを広げることも良いのではないかと考えています。
 また、ICTが進むことにより、タブレットやスマホを見る時間が長くなっ

ていると思いますが、例えば、学校外での教育では、逆にICTを利用して配信を行ったり、学校内では、教科担任制の授業を配信にしたりすることで、先生方の負担軽減や子供たちの学力向上にも繋がるのであれば、それも一助であると思います。

教育部長 : ありがとうございました。
 それでは、次に(2)「市内小中学校校舎及び幼稚園舎の老朽化について」説明をお願いします。

教育部次長 : (2)「市内小中学校校舎及び幼稚園舎の老朽化について」説明)
(教育総務課長)

教育部長 : ありがとうございました。
 ただいま「市内小中学校校舎及び幼稚園の老朽化について」の説明がございましたが、このことについて、ご質問・ご意見等がありましたらお願いいたします。

委員 : 資料2を見ると、維持管理ならびに大規模な改修を行うことで、80年程度まで使用できるということですが、それでも80年なので、お金がかかってくるものですが、子供たちが安心して勉強に集中できる環境を作っていたらと思います。

教育部長 : ありがとうございました。
 他にありますか。

委員 : 資料を見て、各学校の古さに改めて驚いています。
 やはり、子供たちの安全を考えると、早急に取り組まなければいけない問題だと思いました。

教育部長 : ありがとうございました。
 他にありますか。

委員 : ほとんどの学校が法定耐用年数47年を経過しており、いろいろと修繕はしている状況であるとは思いますが、最近では、予想していない台風や大雨といった大規模災害もありますので、建築費用も高騰していますが、子供たちの安全を第一に、優先順位を考えて修繕していったらいいと思います。

教育部長 : ありがとうございました。
 他にありますか。

委員 : 少子化により子供の数は減少していますが、コミュニティ・スクールも開始され、今後の学校施設には、複合的な機能が求められてくると思いますので、地域の人たちの活動の場としても提供できるような改築ができればと思います。

教育部長 : ありがとうございました。
 それでは教育長、お願いします。

教育長 : 複合的な機能という面では、柏市では、学校内に教育支援センターや地域の方が集会を行うことができる部屋、避難所を想定した体育館等を作る取組をしていますので、学校単独での改修または新築というだけではなく、地域のコミュニティの核として学校を置くという作り方もあるのではないかと思います。

 教育関係に関しては、全国都市教育長協議会等を通じて、国としてのサポートを要望していきますが、市長部局におきましても、庁舎維持管理について国の支援を要望していく中で、市の施設の1つに学校があることを念頭に置いていただきたいと思います。

 施設関係に関しては、教育部局だけでできることではないので、ご協力をお願いします。

教育部長 : ありがとうございました。
 それでは市長、お願いします。

市長 : 教育施設の整備につきましては、創意工夫しながら、行財政改革を含めて財源の確保をしっかりと行い、迅速にやらなければいけないと思っています。

すので、今後もいろいろなご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。
 教育部長 : ありがとうございました。
 それでは、教育長から課題の全体に対する総括を、お願いします。
 教育長 : 本日は、市長部局の方にご出席いただき、教育が抱える課題について議論
 することができて良かったと思います。
 今後も、お互いに連携し、寄り添いながら、将来、茂原を背負って立つ子
 供たちを育てていきたいと思います。
 教育部長 : ありがとうございました。
 続きまして、市長をお願いします。
 市長 : 本日は、いろいろと深い議論ができたと思います。
 国も少子化対策を一番の問題として掲げていますが、やはり、今の子供た
 ちの環境整備が、今後の少子化対策に結びつくと思いますので、市長部局
 も一緒に共有しながら進めていければと思います。
 教育部長 : ありがとうございました。
 本日いただきましたご意見を加味し、本市の教育が抱える様々な諸課題
 に今後も丁寧に対応していくとともに、子供の教育環境を第一に考えなが
 ら、教育施策の推進に努めてまいります。
 それでは、以上で本日の議事については終了いたします。
 教育総務課長 : 皆様、長時間にわたりお疲れ様でした。
 補佐 : 次回、令和7年度第2回の総合教育会議の日程でございますが、3月下旬を
 予定しております。
 議題と合わせまして、決定次第お知らせいたします。
 また、本日の会議録になりますが、決裁後、市公式ウェブサイトで公表い
 たしますのでご了承のほどよろしくお願いいたします。
 それでは、以上をもちまして、令和7年度第1回総合教育会議を終了いた
 します。